3　本県のソーシャル・キャピタルの醸成（単純集計から）

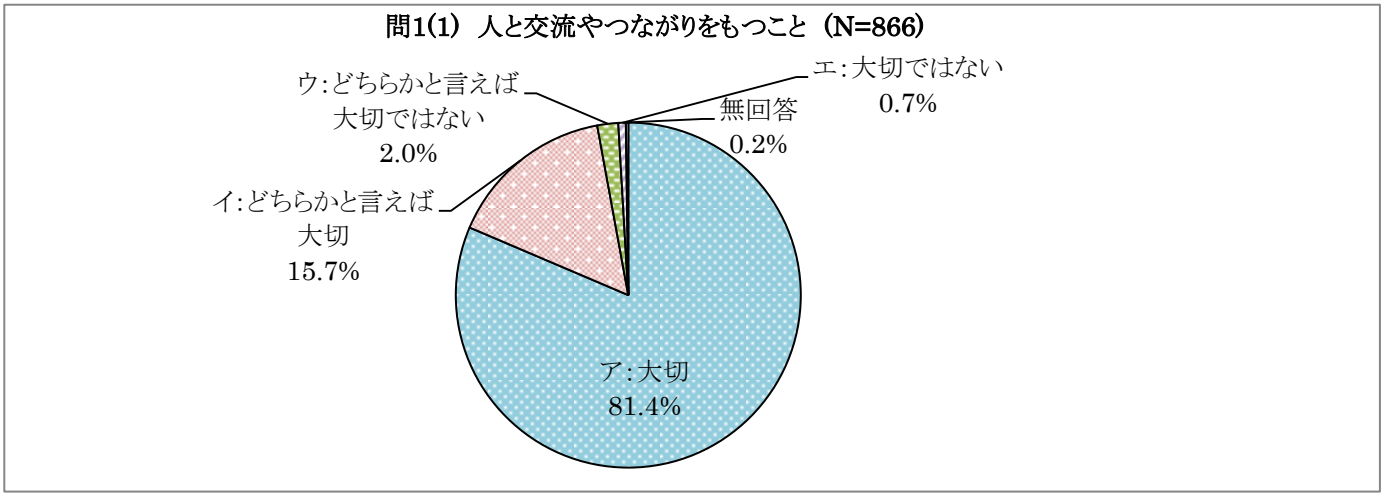
調査票の問１から問４までの回答についての単純集計結果を示す。

（1）　人との交流・つながりについて

①　交流・つながりへの意識

問１（１）
人と直接会って話をしたり、一緒に活動したりして、交流・つながりをもつことについて、どのように考えますか。（ＳＡ）

【図９】

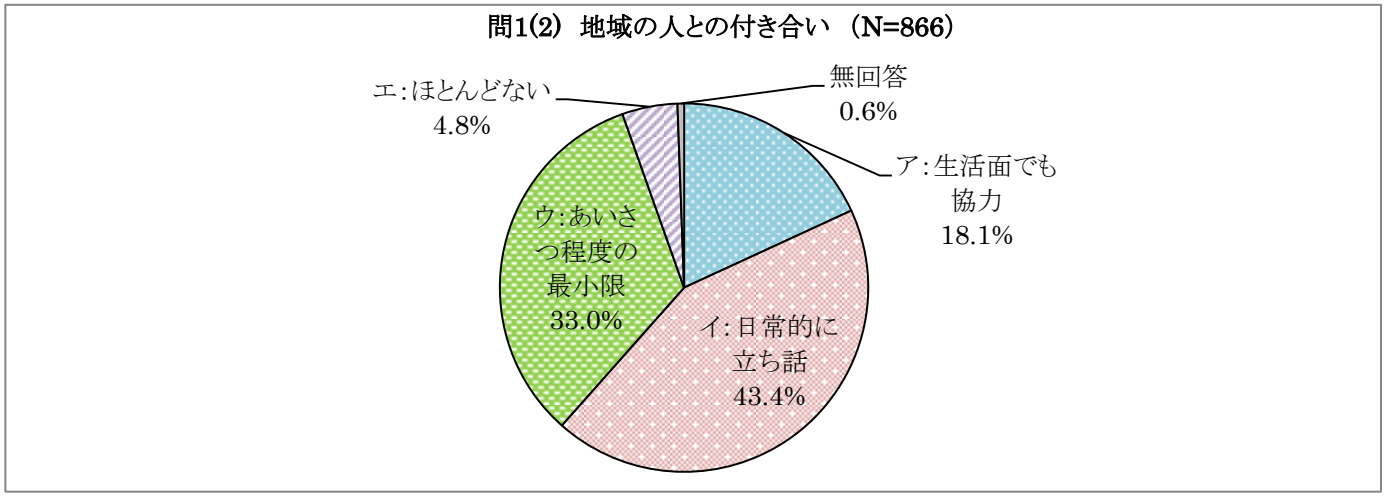


「直接会って話をしたり、一緒に活動したり」という点で人との交流・つながりについての意識を質問した。全体では、81.4%が「ア：大切だと思う（以下、大切）」と回答している。「イ：どちらかと言えば大切だと思う（以下、どちらかと言えば大切）」は15.7%である。「大切」、「どちらかと言えば大切」を合わせると97.1%である。

②　地域の人との付き合い

問１（２）
地域の方とどのようなお付き合いをされていますか。（ＳＡ）

【図１０】

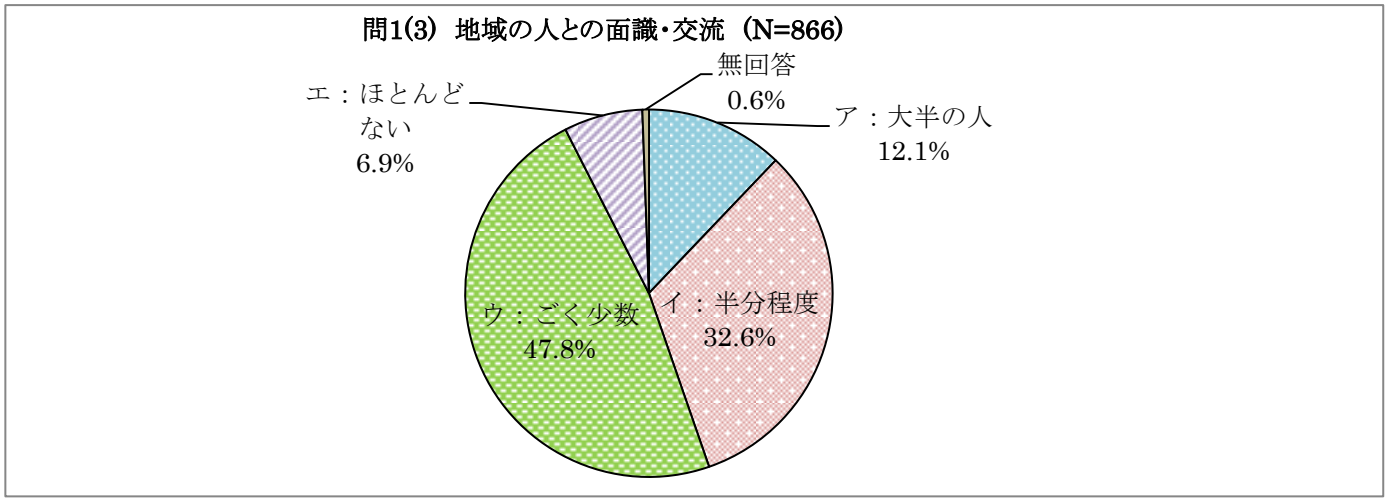


地域の人との付き合いの程度を質問した。「イ:日常的に立ち話をする程度の付き合いはしている（以下、日常的に立ち話）」が 43.4%で最も多い。続いて「ウ：あいさつ程度の最小限の付き合いしかしていない（以下、あいさつ程度の最小限）」が33.0%である。「ア：互いに相談したり日用品の貸し借りをしたりするなど、生活面でも協力し合っている人もいる（以下、生活面でも協力）」は18.1%である。「生活面でも協力」「日常的に立ち話」「あいさつ程度の最小限」を合計すると94.5%である。4.8%ではあるが「ほとんどない」という回答も見られる。

③　地域の人との面識・交流

問１（３）
地域のどのくらいの人と面識・交流がありますか。（ＳＡ）

【図１１】

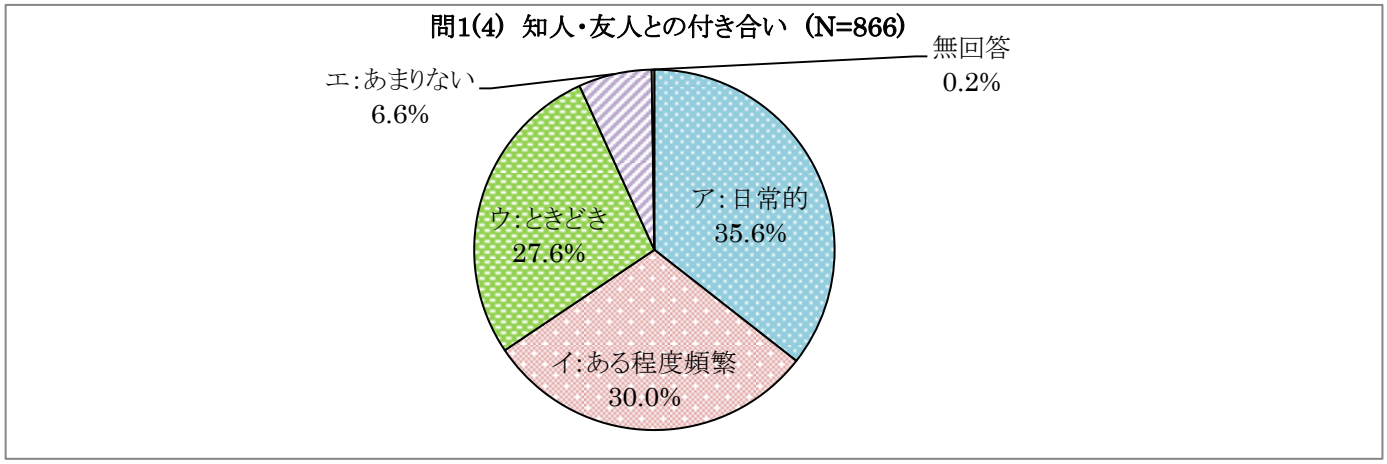


地域のどのくらいの人と面識・交流があるかについての質問した。「ウ：地域のごく少数の人とだけ（以下、ごく少数）」が 47.8%で最も高い割合である。「イ：地域の半分程度の人と（以下、半分程度）」と回答した割合は 32.6%でほぼ 3 分の 1 である。「ア：地域の大半の人と面識・交流がある（以下、大半の人）」と回答した割合は 12.1%である。「大半の人」「半分程度」「ごく少数」を合わせ、地域の人と何らかの面識・交流がある割合は 92.8%と 9 割以上を占める。6.9%が「ほとんどない」と回答している。

④　友人・知人との付き合い・交流

問１（４）
友人・知人（地域内外を問わず）とのつきあい・交流はありますか。（ＳＡ）

【図１２】



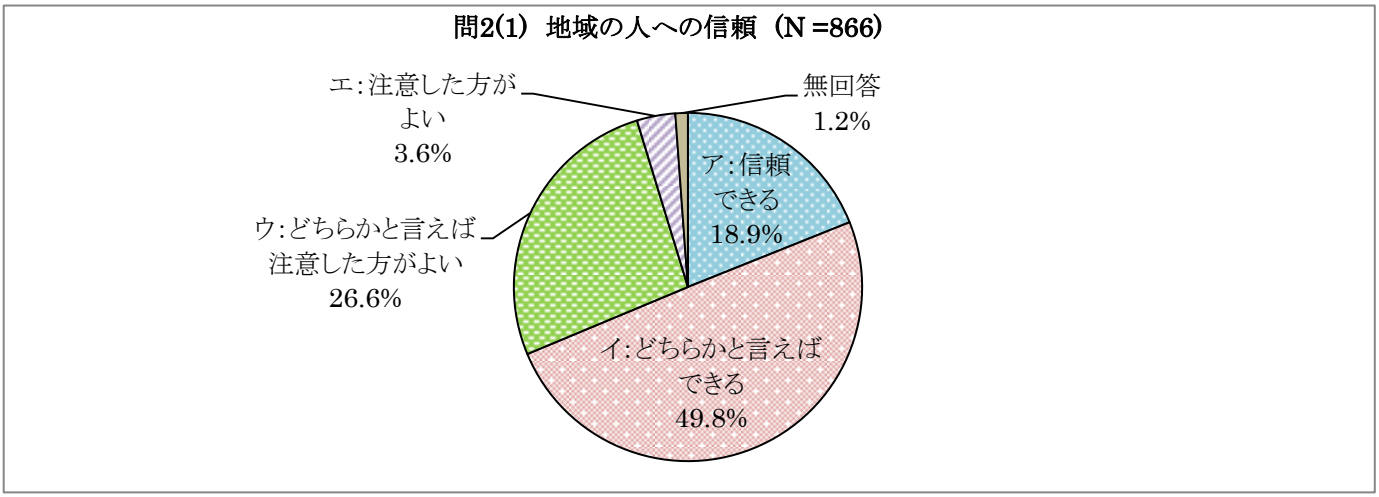
知人・友人（地域の人に限らず）との交流の頻度について質問した。「ア：日常的（ほぼ毎日）にある（以下、日常的）」と回答した割合は 35.6%で最も高かった。「イ：ある程度頻繁（週に 2～3 回）にある。（以下、ある程度頻繁）」が 30.0%、「ウ：ときどき（月に 1 回程度）ある（以下、ときどき）」が 27.6%と続く。「日常的」「ある程度頻繁」「ときどき」を合わせ、何らかの付き合いをしている割合は 93.2%である。

（2）　他人への信頼について

①　地域の人への信頼

問２（１）
地域の人は信頼できると思いますか。それとも注意をするに越したことはないと思いますか。（ＳＡ）

【図１３】

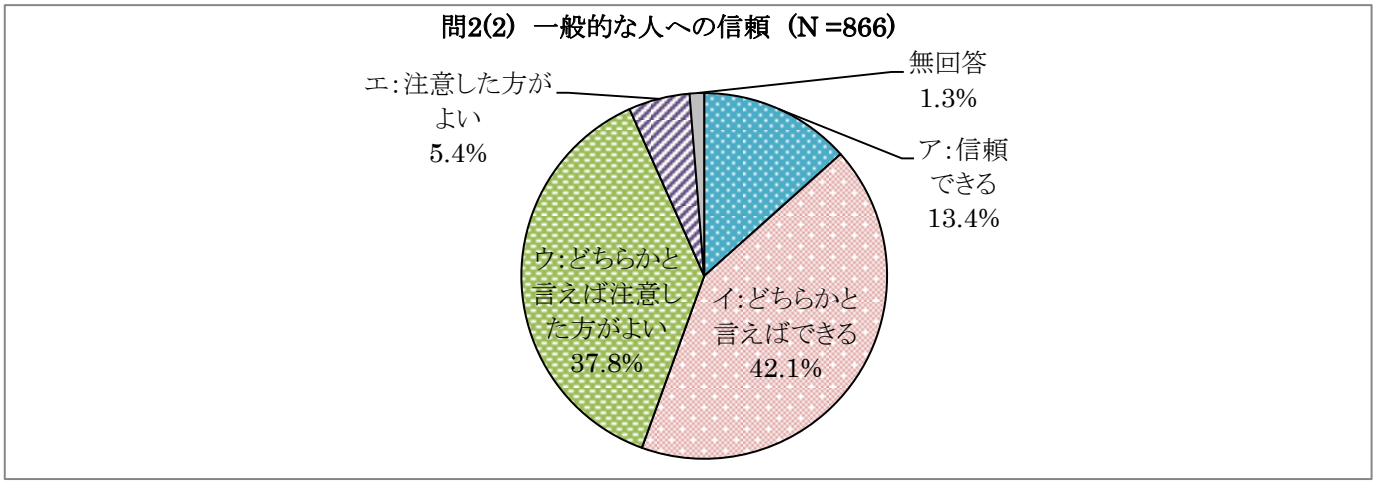


地域の人に対する信頼についての質問である。「イ：どちらかと言えば信頼できる（以下、どちらかと言えばできる）」が 49.8%でほぼ半数である。「ア：ほとんどの人は信頼できる（以下、信頼できる）」は 18.9%である。「信頼できる」「どちらかと言えばできる」を選んだ合計の割合は 68.7%である。「ウ：どちらかと言えば注意をするに越したことはない（以下、どちらかと言えば注意した方がよい）」は 26.6%で、「エ：注意をするに越したことはない（以下、注意した方がよい）」は 3.6%である。「どちらかと言えば注意した方よい」「注意した方がよい」の合計の割合は 30.2%である。

②　一般的な人への信頼

問２（２）
一般的に人は信頼できると思いますか。それとも注意をするに越したことはないと思いますか。（ＳＡ）

【図１４】



一般的に人は信頼できるかという質問への回答である。「イ：どちらかと言えば信頼できる（以下、どちらかと言えばできる）」が 42.1%で最も高い割合である。続いて「ウ：どちらかと言えば注意をするに越したことはない（以下、どちらかと言えば注意）」が 37.8%である。「ア：ほとんどの人は信頼できる（以下、信頼できる）」は 13.4%で、「どちらかと言えばできる」を合わせると 55.5%である。

（3）地域活動への参加について

① 地域活動への参加状況

問3（1）

現在、以下のａ～ｄの項目への参加状況について、あてはまるもの。（ＳＡ）

１：週３回以上　２：週１～２回　３：月２～３回　４：月１回程度　５：年数回程度　６：参加していない

活動分類表

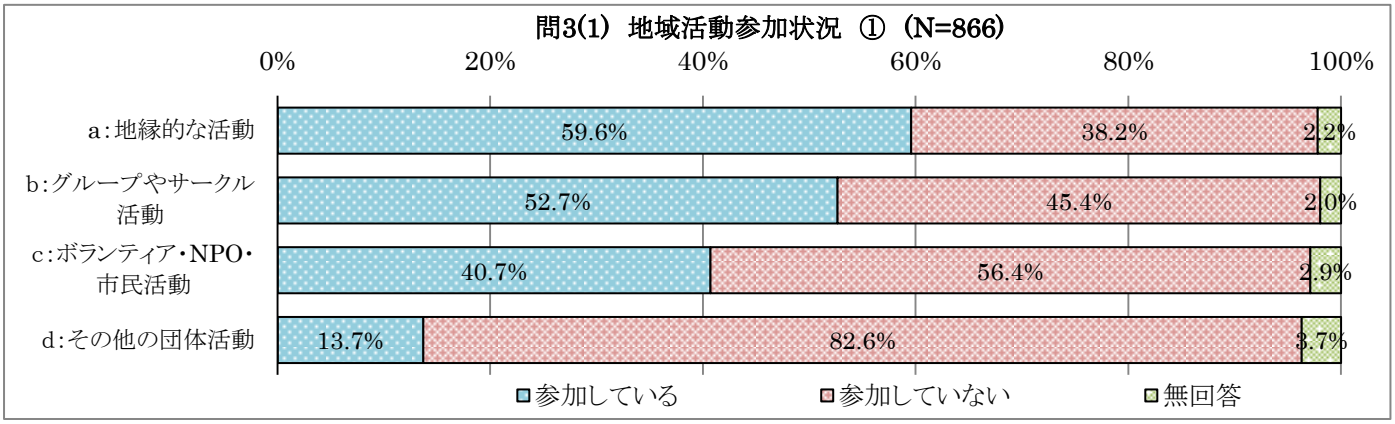
ａ 地縁的な活動・・・自治会、町内会、婦人会、老人会、青年団、子ども会育成会等

ｂ グループやサークル活動・・・スポーツ・趣味・子育て・講座修了者で立ち上げたもの等

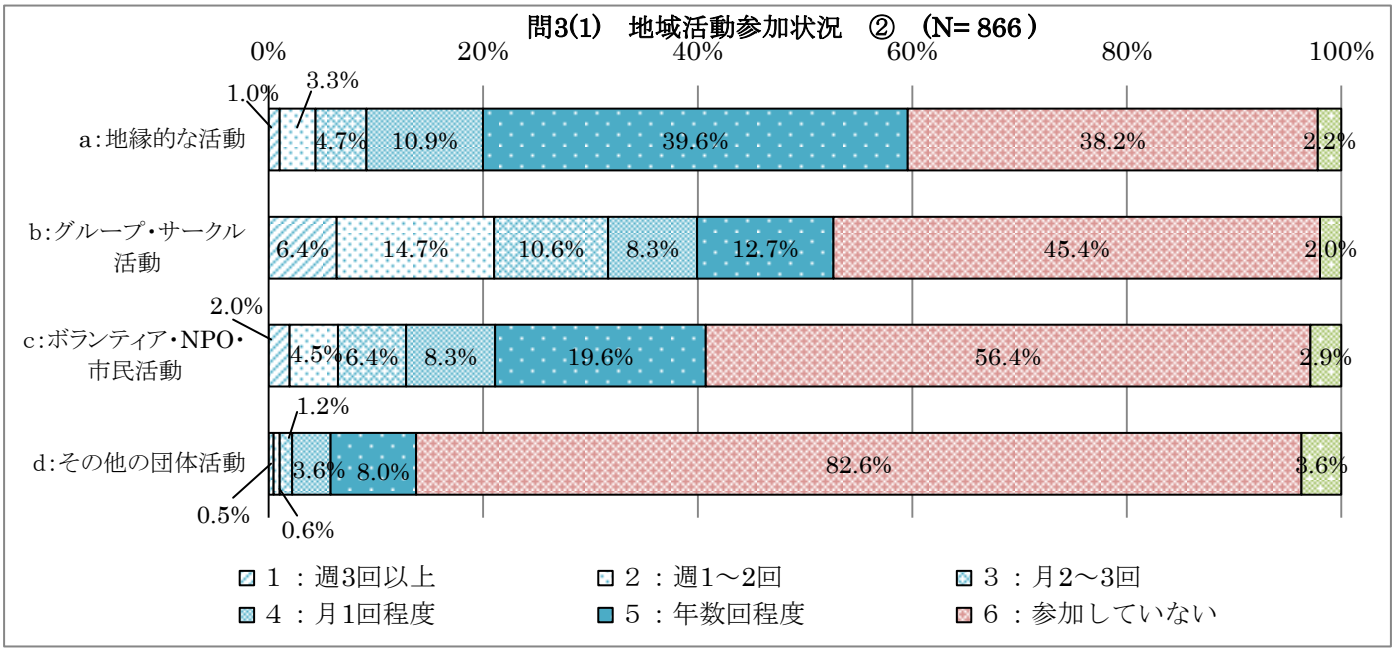
ｃ ボランティア、NPO、市民活動・・・まちづくり、福祉、スポーツ指導、環境保護、防災・防犯等

ｄ その他の団体活動・・・商工会、業種組合、宗教、政治等

【図１５】



【図１６】



地域活動への参加状況について質問した。活動は分類表のとおり、a～d の４つの分野に分けた。

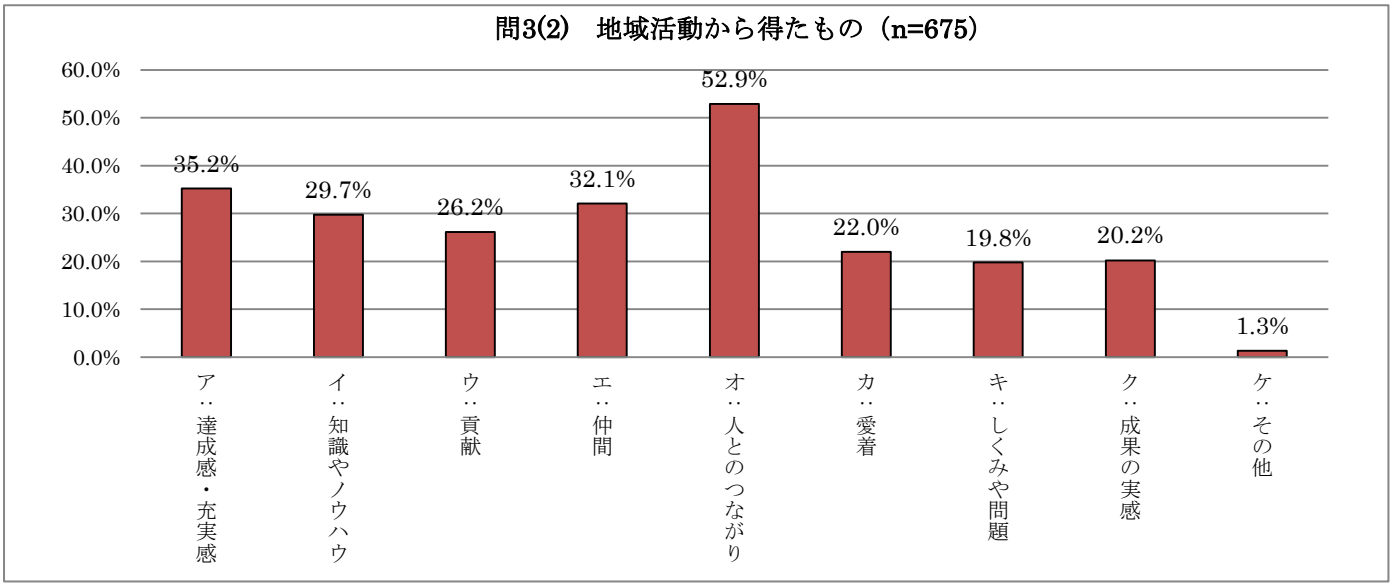
【図１５】は、回答者全体の活動への参加の有無である。「a：地縁的な活動」への参加が 59.6%と最も高い割合である。以下「b：グループやサークル活動」52.7%、「c：ボランティア・NPO・市民活動」40.7%、「d：その他の団体活動」13.7%と続く。

【図１６】は、地域活動への参加頻度である。「参加していない」を除けば、「a：地縁的な活動」「c：ボランティア・NPO・市民活動」「d：その他の団体活動」はいずれも、「5：年数回程度」参加しているという回答が最も多い。「b：グループ・サークル活動」は「2：週 1～2 回」活動しているが 14.7%で最も高い割合である。

② 地域活動から得たもの

問３（２）
問３（１）ａ～ｄの１つでも１～５に○を付けた方にうかがいます。活動に参加してどんなことを得ましたか。【MA】

【図１７】

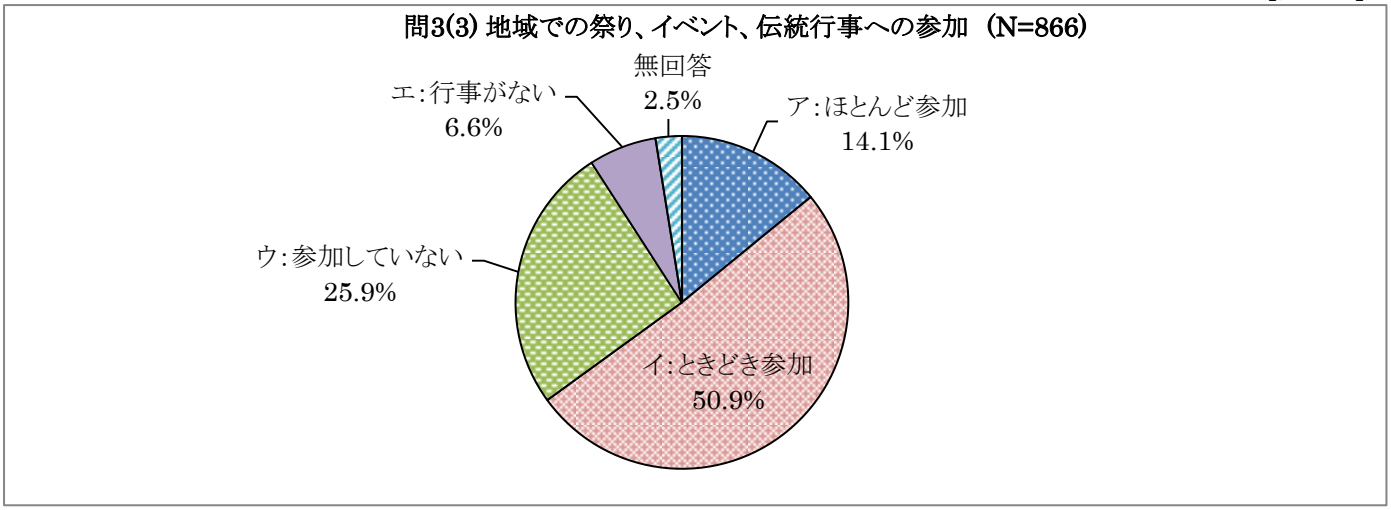


「問 3(1)の地域活動への参加から得たもの」について質問した。「オ：地域のさまざまな人とのつながりができた（以下、人とのつながり）」が 52.9%で最も高い。次に「ア：達成感・充実感を味わえた（以下、達成感・充実感）」35.2%、「エ：価値観を共有できる仲間ができた（以下、仲間）」32.1%と続く。

③ 地域での祭り、イベント、伝統行事への参加状況

問３（３）
地域での祭り、イベント、伝統行事等への参加状況についてうかがいます。【ＳＡ】

【図１８】

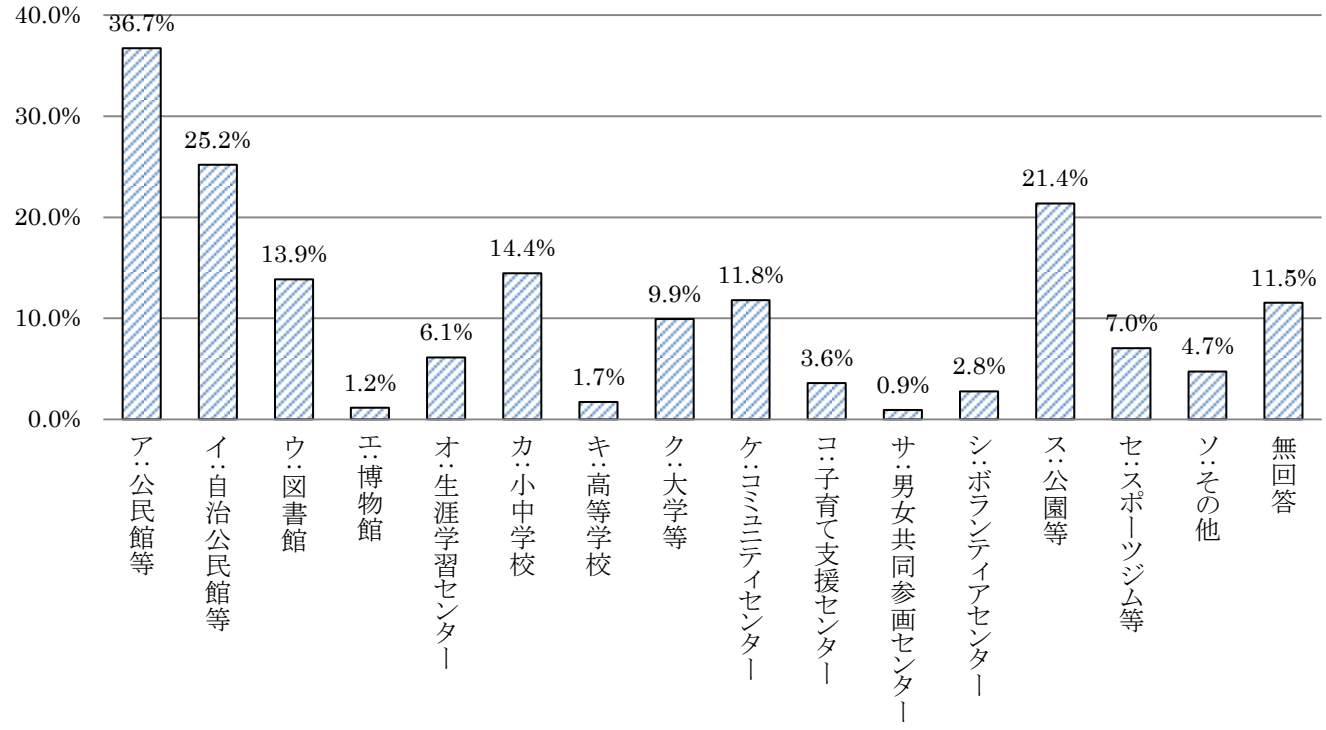


祭り・イベント・伝統行事等への参加状況について質問した。「イ：ときどき参加している（以下、ときどき参加）」という回答が 50.9%で最も多い。「ア：ほとんど参加している（以下、ほとんど参加）」の 14.1%と合わせて、全体の 65.0%が地域の「祭り・イベント・伝統行事」に参加していることが分かる。「ウ：地域での祭り、イベント、伝統行事等はあるが参加していない（以下、参加していない）」は 25.9%、「エ：地域で実施している祭り、イベント、伝統行事等がない（以下、行事がない）」は 6.6%である。合計すると 32.5%、3 割強は地域での「祭り、イベント、伝統行事等」に参加していないということになる。

④　人との交流に利用する施設・場所

問３（４）
人と交流するときによく利用する施設・場所についてうかがいます。【MA】（主なもの３つまで）

【図１９】



【その他の記述】

保育園・児童館、レストラン・飲食店・コンビニ、ショッピングモール、YMCA、自宅、お互いの家、家の近く（道端）、体育館、カルチャーセンター、老人保健センター、NHK、スタジオ、宗教の集会所、寺社、新年会の会場、福祉センター、市民情報センター、ほほえみセンター

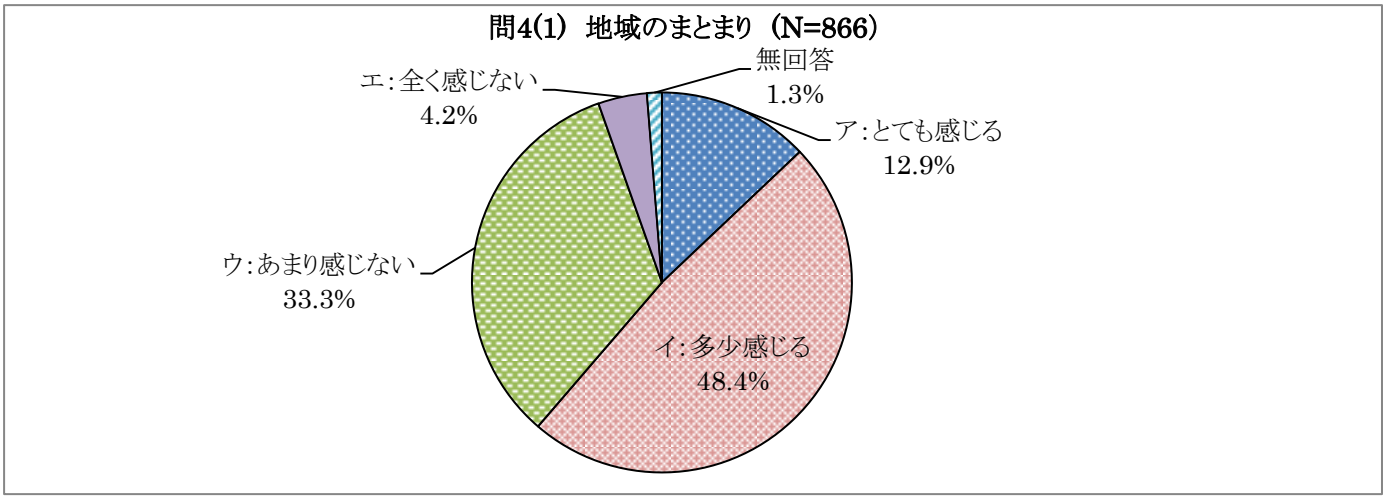
利用しているという回答が最も多かったのは、「ア：公民館等)」の 36.7%であった。次が「イ：自治公民館等)」25.2%、「ス：公園等)」21.4%で、それぞれ 20%以上の回答があった。

（4）　地域について感じていること

①　地域のまとまりについて

問４（１）
　あなたの地域はまとまりがあると感じますか。【ＳＡ】

【図２０】

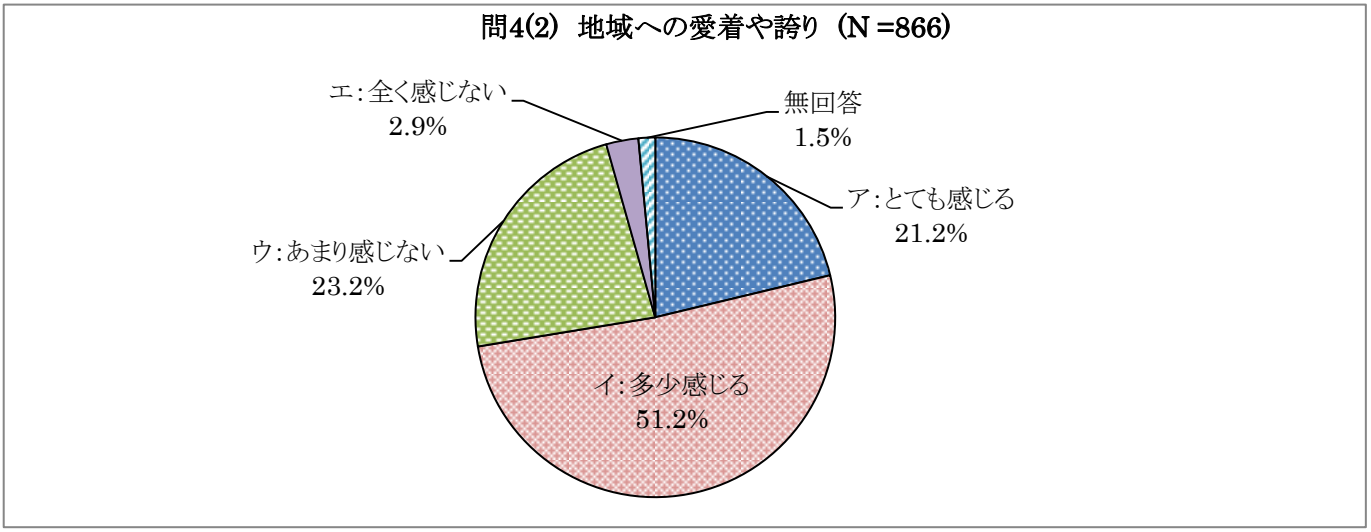


地域のまとまりを感じるかについて質問した。「イ：多少感じる」が 48.4%で最も高い割合である。「ア：とても感じる」は 12.9%である。「とても感じる」「多少感じる」の合計の割合は 61.3%である。

②　地域への愛着や誇りについて

問４（２）
　地域に愛着や誇りを感じていますか。【ＳＡ】

【図２１】

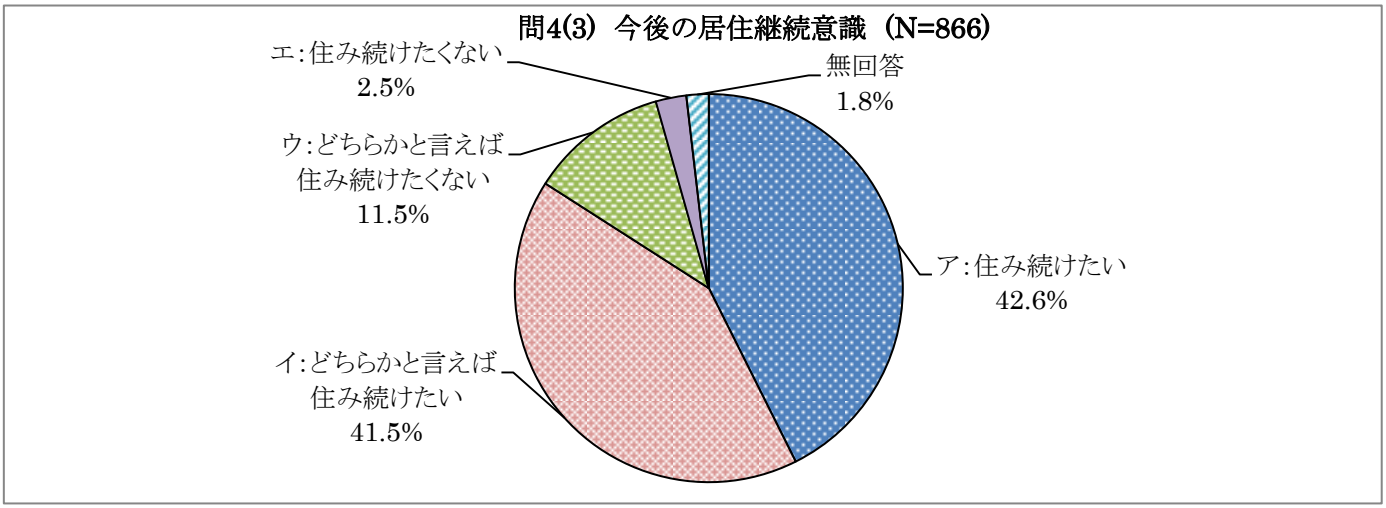


地域への誇りや愛着を感じているかについて質問した。「イ：多少感じる」は 51.2%で最も選んだ割合が高い。「ア：とても感じる」が 21.2%である。「とても感じる」と「多少感じる」の合計の割合は 72.4%である。

③　今後の居住継続意識

問４（３）
　この地域に今後も住みたいと思いますか。【ＳＡ】

【図２２】



今後も現在居住している地域に住み続けたいかについて質問した。全体では「ア：住み続けたい」が 42.6%で最も高い割合である。「イ：どちらかと言えば住み続けたい」が 41.5%で続く。「住み続けたい」「どちらかと言えば住み続けたい」の合計の割合は、84.1%である。